

久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース（年に4回発行）に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2018年1月発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

「声」に寄りそう一年に：就学援助制度のことなど

ただ今、過去最高記録（体重）更新中！今年はせめて臨月の時の体にもどすことを目標にしたいと思います（笑）

早いもので、4月から三男が中学に上がります。要領よく宿題などサボっていても過ごしていた小学校とは違い、宿題の量や求められる課題も多い中学校生活を無難に過ごせるだろうかとちょっと心配をしている母です。高校生になった長男のカバンや制服をお下がりでお願いしましたが「お下がりばかりだから自転車は自分のが欲しい」と三男。注文に行くと同じデザインでしたが、4年前と比べて2万円以上値上がり。これから靴や体操服・カッパ：入学してからも部活動のユニフォームや夏服など入学の準備に10万円、20万円とお金がかかってきます。

そんな入学準備や教材費、給食費などの金銭的な負担を軽減する「就学援助」という制度があります。各家庭の収入によって対象となる世帯が変わってきますが、対象枠が広がりましたので、一時的に収入が減った家庭も含めて、生活が苦しいなあと感じている方は、学校や市役所に聞いてみてください。この就学援助の制度で全ては賄えませんが、入学準備金もあります。これまで入学後の5月くらいに支給されていましたが、大府市では入学前に支給できるよう準備が進められています。「入学前に欲しい！」という市民の声が届いた例の一つです。

子育てや介護が重なる世代です。私が議員になると決めた理由の一つは「愚痴」を「声」に変えること！今年も皆さんの愚痴！「声」に寄り添える1年にしていきたいと思います。

